



滋賀大学 (滋賀県)



留学生の研究テーマに関連の専修講座の教員による個別指導と関連講義の受講を基本とし、県内外の教育機関等の見学や諸行事に参加できます。

◇大学紹介

○大学の概要

本学は大津市と彦根市にキャンパスが分かれており、大津市には教育学部と大学院教育学研究科が設置され、彦根市には経済学部と大学院経済学研究科、データサイエンス学部が設置されています。

教育学部には学校教育教員養成課程が、教育学研究科には、「学校教育専攻」、「障害児教育専攻」及び「教科教育専攻」の3専攻が設置されています。キャンパスは琵琶湖岸に近く、勉学にもスポーツや文化活動にも恵まれた環境にあり、また、京阪神への交通の便もよく、容易にその文化に接することができます。

○国際交流の実績

- ・留学生数（平成28年5月1日現在）161名
- ・教員研修留学生受入実績

2014年度：0名 2015年度：2名

2016年度：0名

- ・大学間学術交流協定締結校

本学とミシガン州立大学（アメリカ合衆国）、ディーキン大学、シドニー工科大学（オーストラリア）、チェンマイ大学、チェンマイラジャパット大学（タイ）、東北財経大学（中国）、国立高雄大学、国立高雄海洋科技大学、國立台中科技大学（台湾）、グアナファト大学（メキシコ）、啓明大学（韓国）、ブスケルード・ベスタフォールド大学（ノルウェー）、ゾイド大学（オランダ）との間で学術交流協定が結ばれ、短期の学生交流をはじめとして、留学生の派遣による教育研究等の相互協力が図られています。

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

本学大学院教育学研究科は、初等、中等教育及び教師教育に関する教授法の追求、授業分析法の研究、カリキュラムの開発について力を入れています。また、本学は琵琶湖畔に位置していることから、環境科学や環境教育、地域社会環境や陸水科学の研究が盛んで、このような分野に関心を持つ留学生を積極的に受け入れています。

○受入定員 5人

○研修コースの概要

- ・日本語教育

2017.10～2018.3

文部科学省指定の大学で日本語予備研修を受講します。

2018.4～2019.3

本学の日本語に関する授業を受講します。

- ・専門教育 2018.4～2019.3

留学生の研究テーマに関連する専修講座の指導教員による個別指導及び関連の講義を受講します。授業は日本語により行われ、必要に応じて、英語による説明を加えて授業を行っています。

- ・見学・地域交流等の参加型科目

野外実習を含む実験実習に参加したり、附属学校等の見学、他 機関主催の行事等に参加できます。

◇修了生へのフォローアップ

メール等による情報提供によりデータベースを作成し、ネットワーク作りに取り組んでいます。母校に招待するプログラム（講演やセミナー等への出席）を実施しています。

◇宿 舎

○宿舎数 学生寮は、全室単身用

（男子28室、女子39室）

空き室があれば留学生も入居可能

○宿舎費 1万4千円程度。電気代実費

○宿舎設備・備品

風呂、トイレ、調理施設は共用

○宿舎周辺的生活情報、通学時間

大学周辺（徒歩10分以内）には多くの民間アパートがあり、家賃は月額4万～5万円程度。

大学の周りには、スーパーマーケット、銀行、郵便局、コンビニエンスストアがあり、最寄のJRの駅まではバスで10分くらいです。

◇問合せ先

大学所在地：滋賀県大津市平津2丁目5の1

担当部署：滋賀大学教育学部学生・就職支援係

TEL： 077-537-7708

FAX： 077-537-7861

E-MAIL： soudan@edu.shiga-u.ac.jp

ホームページアドレス：

<http://www.shiga-u.ac.jp/index.html>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学の能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
27001	井上 毅 教授	-----	認知心理学	記憶、認知過程	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27002	渡部 雅之 教授	watanabe@edu.shiga-u.ac.jp	発達心理学	認知発達	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27003	若松 養亮 教授	wakamatu@edu.shiga-u.ac.jp	職業心理学	キャリア意思決定	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27004	菅 眞佐子 教授	suga@edu.shiga-u.ac.jp	幼児心理学	幼児期の子どもの認知発達	1名	日常会話レベルの英語の能力を有するもの
27005	奥田 援史 教授	okuda@edu.shiga-u.ac.jp	幼児教育	就学前教育／子どもの発達	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27006	中村 史朗 教授	shirou@edu.shiga-u.ac.jp	書道	書表現 書写指導の比較研究	1名	日本語を習得していること
27007	松丸 真大 准教授	matumaru@edu.shiga-u.ac.jp	社会言語学 方言学	言語変化に関する研究	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27008	二宮 美那子 准教授	mninomiya@edu.shiga-u.ac.jp	漢文学	漢文学(中国古典文学)研究	1名	日本語あるいは中国語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27009	岸本 実 教授	minoruk@edu.shiga-u.ac.jp	社会科教育学	日本の社会科教育	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27010	杉江 徹 教授	sugie@edu.shiga-u.ac.jp	代数学	代数曲線、整数論	1名	エジプト 1名
27011	高澤 茂樹 教授	takazawa@edu.shiga-u.ac.jp	数学科教育	数学教育における認識論的研究		日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27012	篠原 雅史 講師	shino@edu.shiga-u.ac.jp	離散幾何学	点の配置に関する研究	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27013	神山 保 教授	kohyama@edu.shiga-u.ac.jp	統計物理学	統計物理学	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。 スーダン 1名
27014	大山 真満 准教授	ohyama@edu.shiga-u.ac.jp	天文学	太陽・天文学	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。

大学名 : 滋賀大学 (大学番号 27)

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学の能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
27015	犬伏 純子 教授	inubushi@edu.shiga-u.ac.jp	音楽（ピアノ）	ピアノ演奏法	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27016	杉江 淑子 教授	norioka@edu.shiga-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科の教材研究	1名	日本語による受講が可能であること。
27017	若林 千春 教授	wakabaya@edu.shiga-u.ac.jp	作曲	作曲・音楽の理論	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27018	林 睦 教授	hayashi@edu.shiga-u.ac.jp	音楽教育	地域と連携した音楽教育	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27019	中根 庸介 准教授	nakane@edu.shiga-u.ac.jp	音楽（オーボエ）	オーボエ演奏法	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27020	谷田 博幸 教授	tanita@edu.shiga-u.ac.jp	西洋近代美術史	英国ヴィクトリア朝の美術	1名	日常会話レベルの英語の能力を有するもの。
27021	新関 伸也 教授	niizeki@edu.shiga-u.ac.jp	美術科教育	図画工作・美術科の題材開発	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。 メキシコ 1名
27022	藤田 昌宏 准教授	fujitama@edu.shiga-u.ac.jp	具象彫刻	美術（ワークショップなど）を通じた社会連携活動の研究	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27023	世ノ一 善生 教授	yonoi@edu.shiga-u.ac.jp	グラフィック・デザイン	タイポグラフィにおけるシステマティックなデザイン制作の理論と方法	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27024	辻 延浩 教授	ntsuji@edu.shiga-u.ac.jp	保健体育科教育	体育・健康教育モデルプログラムの開発	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。 ブラジル 1名
27025	平井 肇 教授	hirai@edu.shiga-u.ac.jp	スポーツ社会学	スポーツ・レクリエーションの社会的分析	1名	日常会話レベルの英語または日本語の能力を有するもの。
27026	磯西 和夫 教授	isonishi@edu.shiga-u.ac.jp	材料工学 粉末冶金	新しい材料の創製	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27027	松原 伸一 教授	matsubar@edu.shiga-u.ac.jp	情報教育	高度情報通信社会と情報教育	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学の能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
27028	大嶋 秀樹 教授	hioshima@edu.shiga-u.ac.jp	英語教育・心理言語学・神経言語学・国際文化	関心があるテーマについて、研究をまとめ。	1名	英語（が望ましい、または日本語）が使用できること。学部・大学院の専門は問わない。
27029	岩井 憲一 准教授	iwai@edu.shiga-u.ac.jp	情報教育	学校教育におけるWebアプリケーションの開発	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。フィリピン 1名 オーストラリア 1名
27030	村田 透 准教授	muratato@edu.shiga-u.ac.jp	美術科教育	小学校教育や就学前教育における図画工作科の題材	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27031	三輪 貴美枝 教授	-----	教育哲学	ドイツ教育思想史研究	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27032	松田 繁樹 准教授	matsuda@edu.shiga-u.ac.jp	スポーツ科学	スポーツ科学に関する研究	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27033	加登本 仁 講師	kadomoto@edu.shiga-u.ac.jp	体育科教育学	体育授業研究 体育教師の力量形成に関する研究	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27034	長谷川 武博 准教授	thasegawa@edu.shiga-u.ac.jp	代数学	代数関数体、ガロア理論	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27035	市川 智史 教授	-----	環境教育	初等教育を中心とした環境教育実践論及び教育プログラム開発	1名	日本語による日常会話が可能で、日本語による受講が可能であること。
27036	石川 俊之 准教授	ishikawa@edu.shiga-u.ac.jp	湖沼生態学	湖の生物と環境に関する研究	1名	日本語による日常会話が可能、もしくは専門分野に関する英語での会話が可能